



# Cloud Platform Scale Comparison: A Reference for Japan-Based IT Teams

クラウドプラットフォーム規模比較 :日本拠点 IT 部門向けリファレンス

March 19, 2026 / 2026 年 3 月 19 日

---

**English Version**

[See page 8 →](#)

**日本語版**

[3 ページへ →](#)

# クラウドプラットフォーム規模比較：日本拠点 IT 部門 向けリファレンス

2026 年 3 月 19 日

---

## 目次

グローバルプラットフォーム比較 .....	3
この数字が意味すること .....	4
Deno Deploy：プラットフォーム選定のリスク事例 .....	4
日本国内ホスティング市場の現状 .....	4
主権判断への示唆 .....	5
はじめに .....	6
お問い合わせ .....	7

### 関連記事: [日本におけるクラウド主権：中堅企業が押さえるべきポイント](#)

クラウド主権の議論では、見落とされがちな問いがあります。そのベンダーは、必要なリージョンでデータレジデンシーを提供できる規模を持っているのか。本資料では、主要なモダンホスティング・エッジプラットフォームを売上、従業員数、インフラ拠点、日本対応の観点で比較します。

**本社への説明ポイント:** 海外本社から「なぜ日本国産のプラットフォームを使わないのか」と聞かれた場合、この比較表がそのまま回答材料になります。

## グローバルプラットフォーム比較

	<a href="#">Cloudflare</a>	<a href="#">Fastly</a>	<a href="#">Vercel</a>	<a href="#">Netlify</a>	<a href="#">Fly.io</a>	<a href="#">Deno</a>
形態	<a href="#">上場 (NYSE: NET)</a>	<a href="#">上場 (NYSE: FSLY)</a>	非上場	非上場	非上場	非上場
設立	2009 年	2011 年	2015 年	2014 年	2017 年	2019 年
売上 (最新)	<a href="#">21.7 億ドル (2025 年)</a>	<a href="#">6.24 億ドル (2025 年)</a>	<a href="#">約 2 億ドル (2025 年)</a>	<a href="#">約 4,600 万ドル (2024 年)</a>	<a href="#">約 1,100 万ドル (2024 年)</a>	非公開
従業員数	<a href="#">約 5,100 人</a>	<a href="#">約 1,100 人</a>	<a href="#">約 870 人</a>	<a href="#">約 180 人</a>	<a href="#">約 72 人</a>	<a href="#">約 42 人</a>
累計資金調達	IPO (2019 年)	IPO (2019 年)	<a href="#">8.63 億ドル</a>	<a href="#">2.12 億ドル</a>	<a href="#">1.15 億ドル</a>	<a href="#">2,600 万ドル</a>
評価額	<a href="#">約 680 億ドル (時価総額)</a>	<a href="#">約 14 億ドル (時価総額)</a>	<a href="#">93 億ドル (2025 年 10 月)</a>	<a href="#">20 億ドル (2021 年 11 月)</a>	<a href="#">約 4 億ドル (2023 年)</a>	非公開
エッジ/CDN 拠点	<a href="#">330 都市以上、125 か国以上</a>	<a href="#">約 90 PoPs</a>	グローバル CDN (AWS 上)	グローバル CDN (AWS 上)	<a href="#">35 リージョン</a>	<a href="#">2 リージョン (EA 版)</a>
日本拠点	東京、大阪、福岡、那覇	<a href="#">東京</a>	AWS 東京経由	最寄り：シンガポール	<a href="#">東京 (NRT)</a>	<a href="#">東京は 2025 年 1 月に廃止 (英語)</a>
自社インフラ所有	あり	<a href="#">あり (英語)</a>	なし (AWS 基盤)	なし (AWS 基盤)	<a href="#">あり (英語)</a>	なし
ISMAP 認定	<a href="#">あり (2026 年 1 月)</a>	なし	なし	なし	なし	なし
データローカライゼーション	<a href="#">あり (日本対応)</a>	なし	なし	なし	なし	なし
エッジコンピュート	<a href="#">Workers</a>	<a href="#">Compute</a>	<a href="#">Edge Functions</a>	<a href="#">Edge Functions (Deno ランタイム)</a>	<a href="#">Fly Machines</a>	<a href="#">Deploy EA</a>

出典：各社決算・公式発表、PitchBook、Macrotrends、Getlatka、Tracxn、Crunchbase、Sacra。非上場企業の売上は第三者推計値。リンク先が英語の場合は（英語）と記載。

## この数字が意味すること

**規模がデータレジデンシーの選択肢を決める。** Cloudflare は東京、大阪、福岡、那覇に自社ハードウェアを所有し、330 都市以上のグローバルネットワークを運用しています。Fastly はグローバルで約 90 の PoP (東京含む) を自社インフラで運用。Fly.io も自社ハードウェアで 35 リージョン (東京含む) を展開 (英語) しています。Vercel と Netlify は AWS 上で動作しており、日本拠点の有無は AWS のリージョン構成とプランティアに依存します。Netlify はサーバーレスファンクションのデフォルトが US East (オハイオ) で、リージョン選択は Pro/Enterprise プラン限定 (英語) です。Deno Deploy は 2025 年 1 月に東京リージョンを廃止 (英語) し、現在はグローバルで 2 リージョンのみです。

**売上は持続可能性の指標。** Cloudflare は年間 21.7 億ドルの売上で前年比約 30% 成長。Fastly は 6.24 億ドルで黒字化に向かっています (英語)。Vercel は 2 億ドル (英語) に到達しましたがベンチャーキャピタルの資金を消化している段階。Netlify は約 4,600 万ドルで成長が鈍化 (英語) しており、2021 年 11 月の Series D (\$2B 評価) (英語) 以降、プライスドラウンドがありません。Fly.io は 1.15 億ドルの調達に対し売上 1,100 万ドル (英語) と、商用モデルの確立が課題です。Deno は累計 2,600 万ドル、従業員約 42 人 (英語) で、2026 年 3 月にスタッフの退職が報告されています。

**インフラの所有形態が本質を変える。** Cloudflare や Fastly が「データは日本国内に留まる」と言う場合、それは各社所有のサーバーで処理されることを意味します。Vercel や Netlify の場合、AWS 東京リージョンで実行されるという意味であり、AWS の利用規約や AWS の法的管轄の下にあります。Fly.io も自社ハードウェアで運用 (英語) しているため、ハイパースケーラーからの構造的な独立性がありますが、売上 1,100 万ドル・72 人体制という規模は別種のリスクを伴います。

## Deno Deploy：プラットフォーム選定のリスク事例

Deno Deploy は 25 リージョンで開始し 35 まで拡大しましたが、2024 年初頭には 12 に縮小、2024 年末には 7、2025 年 1 月には 6 まで減少 (英語)。EA 版は 2 リージョンのみ (英語) で提供されています。Ryan Dahl 氏はリージョン削減についてコストと利用パターンが要因と説明 (英語) しましたが、累計調達 2,600 万ドル (英語) で Oracle との JavaScript 商標紛争 (英語) も抱える中、2026 年 3 月に複数のスタッフ退職が報告されています。

本番サイトを Deno Deploy に置いていた組織にとって、この推移はプラットフォーム選定がベンダーの財務健全性への賭けでもあることを示しています。

## 日本国内ホスティング市場の現状

日本には成熟したホスティング市場がありますが、上記のグローバルプラットフォームとはカテゴリーが異なります。モダンなエッジコンピューティングやサーバーレスデプロイメントプラットフォームを提供する日本企業は現時点で存在しません。

企業	種別	主なサービス	エッジ/サーバーレス
<a href="#">さくらインターネット</a>	IaaS、VPS、GPU クラウド	さくらのクラウド、 <a href="#">高火力 (GPU)</a> 、 <a href="#">政府クラウド ISMAP 認定</a> (英語)	なし
<a href="#">GMOインターネットグループ</a>	ホスティング総合	<a href="#">ConoHa</a> (VPS)、 <a href="#">ロリポップ!</a> (共有)、 <a href="#">Heteml</a> 、GMO GPU クラウド	なし
<a href="#">IIJ</a>	ISP、企業向けネットワーク	IIJ GIO (クラウド)、マネージドサービス	なし
<a href="#">カゴヤ</a>	従来型ホスティング	共有ホスティング、VPS、専用サーバー	なし
<a href="#">NTTコミュニケーションズ</a>	企業クラウド・ネットワーク	Enterprise Cloud、マネージドホスティング	なし
<a href="#">富士通</a>	エンタープライズ IT	<a href="#">富士通クラウド (ソブリン、Oracle Alloy 基盤)</a> (英語)、ISMAP 認定	なし

**国内プロバイダーが強い領域:** 政府クラウド ([さくらインターネットは国内初の政府クラウド ISMAP 認定事業者](#) (英語))、AI 向け GPU コンピュート ([さくら](#)、[GMO](#)、[KDDI が NVIDIA インフラに積極投資](#) (英語))、日本語サポートのある従来型企業ホスティング。

**国内プロバイダーが不在の領域:** エッジコンピュート、サーバーレスファンクション、グローバル CDN、開発者向けデプロイメントプラットフォーム、git 連携の CI/CD ワークフロー。国内ホスティング市場とグローバルエッジプラットフォームの差は程度の問題ではなく、カテゴリーの違いです。

## 主権判断への示唆

モダンな Web 基盤 (エッジコンピュート、サーバーレス、グローバル CDN、ゼロトラストネットワーキング) を必要とする組織にとって、選択肢はすべて外資系プラットフォームです。主権の問いは「日本企業のプロバイダーを使うべきか」ではなく、「どの外資系プロバイダーが、日本リージョンのデータレジデンシー、ISMAP コンプライアンス、運用管理の面で最適か」になります。

ISMAP 認定済みのハイパースケーラー ([AWS](#)、[Azure](#)、[Google Cloud](#)) と [Cloudflare](#) は、いずれも日本リージョン展開、[APPI](#) に沿ったデータ処理契約、データの処理・保管場所に関するきめ細かいコントロールを提供しています。

企業 Web サイトや基本的なホスティングなど比較的シンプルなインフラ要件であれば、[さくらインターネット](#) や [ConoHa](#) といった国内プロバイダーも有力な選択肢です。ただしそれはホスティングの判断であって、主権の判断ではありません。

---

## はじめに

イソリアは、東京を拠点とする法人向け（B2B）IT プロフェッショナルサービス企業です。1999 年以来、日本で事業を展開する国際企業に対し、バイリンガル IT サポートを提供し、専任の IT 部門と同等のスキルと専門性を備えたローカル IT 部門として機能してまいりました。

### 私たちの強み:

- **チームベースのアプローチ**： 弊社は、ヘルプデスク、インフラ、セキュリティ、プロジェクト管理まで、チームで包括的にサポートします。
- **バイリンガルプロフェッショナル**： 英語・日本語のコミュニケーションで、本社と日本拠点をシームレスに橋渡しします。
- **26 年以上の実績**： 確立された運用プロセス、徹底したドキュメンテーション、多国籍クライアントとの実績があります。
- **ベンダーニュートラル**： ベンダーに依存しない中立的な視点で、常にお客様のニーズに最適化したソリューションを提供します。

私たちは最高水準のプロフェッショナリズムと厳格な機密保持体制のもと、実効性に優れた最適なソリューションを提供します。

— 株式会社イソリア

---

## お問い合わせ

株式会社イソリア 〒105-7105 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター 5 階 (Workstyling)

電話	03-4577-3380
メール	hello@esolia.co.jp
Web	<a href="https://esolia.co.jp">https://esolia.co.jp</a>
営業時間	月～金、9:00～18:00



# Cloud Platform Scale Comparison: A Reference for Japan-Based IT Teams

March 19, 2026

---

## Contents

Global Platform Comparison .....	9
What the Numbers Tell You .....	10
Deno Deploy: A Cautionary Note .....	10
Japan's Domestic Hosting Landscape .....	10
Implications for Sovereignty Decisions .....	11
Introduction .....	12
Contact Us .....	13

## Companion to: [Cloud Sovereignty in Japan: What Mid-Market Companies Need to Know](#)

When evaluating cloud sovereignty claims, one question is often overlooked: does the vendor have the scale to deliver data residency where you need it? This reference compares the major modern hosting and edge platforms by revenue, headcount, infrastructure footprint, and Japan-specific capabilities.

### Global Platform Comparison

	<a href="#">Cloudflare</a>	<a href="#">Fastly</a>	<a href="#">Vercel</a>	<a href="#">Netlify</a>	<a href="#">Fly.io</a>	<a href="#">Deno</a>
Type	Public (NYSE: NET)	Public (NYSE: FSLY)	Private	Private	Private	Private
<b>Founded</b>	2009	2011	2015	2014	2017	2019
<b>Revenue (latest)</b>	<a href="#">\$2.17B (2025)</a>	<a href="#">\$624M (2025)</a>	<a href="#">~\$200M (2025)</a>	<a href="#">~\$46M (2024)</a>	<a href="#">~\$11M (2024)</a>	Not disclosed
<b>Employees</b>	<a href="#">~5,100</a>	<a href="#">~1,100</a>	<a href="#">~870</a>	<a href="#">~180</a>	<a href="#">~72</a>	<a href="#">~42</a>
<b>Total funding</b>	IPO (2019)	IPO (2019)	<a href="#">\$863M</a>	<a href="#">\$212M</a>	<a href="#">\$115M</a>	<a href="#">\$26M</a>
<b>Valuation</b>	~\$68B (mkt cap)	<a href="#">~\$1.4B (mkt cap)</a>	<a href="#">\$9.3B (Oct 2025)</a>	<a href="#">\$2B (Nov 2021)</a>	~\$400M (2023)	Not disclosed
<b>Edge/CDN locations</b>	<a href="#">330+ cities, 125+ countries</a>	<a href="#">~90 PoPs globally</a>	Global CDN (on AWS)	Global CDN (on AWS)	<a href="#">35 regions</a>	<a href="#">2 regions (EA)</a>
<b>Japan PoPs</b>	Tokyo, Osaka, Fukuoka, Naha	<a href="#">Tokyo</a>	Via AWS Tokyo	Nearest: Singapore	<a href="#">Tokyo (NRT)</a>	<a href="#">Tokyo dropped Jan 2025</a>
<b>Owns infra</b>	Yes	<a href="#">Yes</a>	No (AWS)	No (AWS)	<a href="#">Yes</a>	No
<b>ISMAP certified</b>	<a href="#">Yes (Jan 2026)</a>	No	No	No	No	No
<b>Data Localization</b>	<a href="#">Yes (Japan)</a>	No	No	No	No	No
<b>Edge compute</b>	<a href="#">Workers</a>	<a href="#">Compute</a>	<a href="#">Edge Functions</a>	<a href="#">Edge Functions (Deno runtime)</a>	<a href="#">Fly Machines</a>	<a href="#">Deploy EA</a>

Sources: Company filings, PitchBook, Macrotrends, Getlatka, Tracxn, Crunchbase, Sacra. Revenue figures for private companies are estimates from third-party sources.

---

## What the Numbers Tell You

**Scale determines residency options.** [Cloudflare owns hardware in Tokyo, Osaka, Fukuoka, and Naha](#) because they run their own global network in 330+ cities. [Fastly operates about 90 PoPs globally with a Tokyo presence and also owns its infrastructure.](#) [Fly.io runs on its own hardware](#) across 35 regions including Tokyo. Vercel and Netlify run on AWS, so their Japan presence depends on which AWS regions they've provisioned and at which plan tier. [Netlify defaults to US East for serverless functions, with region selection restricted to Pro and Enterprise plans.](#) [Deno Deploy dropped its Tokyo region in January 2025](#) and currently operates in just 2 regions.

**Revenue correlates with sustainability.** [Cloudflare generates \\$2.17B annually](#) and is growing ~30% year-over-year. [Fastly reports \\$624M with a path toward profitability.](#) [Vercel hit \\$200M](#) and is growing fast but still burning through venture capital. [Netlify's growth has slowed](#), at ~\$46M with no priced round since [their \\$2B Series D in November 2021.](#) [Fly.io reached \\$11M](#) on \$115M in funding, a ratio that suggests the commercial model hasn't found its footing. [Deno has \\$26M total with ~42 employees](#) and reported staff departures in March 2026.

**Infrastructure ownership changes the equation.** When Cloudflare or Fastly say “your data stays in Japan,” they mean it runs on their own servers in Japanese data centers. When Vercel or Netlify make similar claims, they mean it runs on AWS Tokyo, subject to AWS's terms and AWS's jurisdictional obligations. [Fly.io also owns its hardware](#), which gives them structural independence from the hyperscalers, but their \$11M revenue and 72-person team carry concentration risk of a different kind.

---

## Deno Deploy: A Cautionary Note

[Deno Deploy launched with 25 regions, expanded to 35, then contracted to 12 in early 2024, 7 by December 2024, and 6 by January 2025.](#) [Deploy EA launched with only 2 regions.](#) Tokyo was dropped in January 2025. [Ryan Dahl acknowledged the region reduction was driven by cost](#), stating that most developers were building full-stack apps tied to a single-region database rather than stateless edge functions. In March 2026, multiple staff departures were reported, consistent with financial pressure on a company with [\\$26M total funding](#) and an ongoing [JavaScript trademark dispute with Oracle.](#)

For any organization that deployed production sites on Deno Deploy, this trajectory is a reminder that platform selection is also a bet on the vendor's financial health. Modern edge platforms are expensive to operate, and only vendors with sufficient revenue or funding can sustain global infrastructure over the long term.

---

## Japan's Domestic Hosting Landscape

Japan has a mature domestic hosting market, but it operates in a different category from the platforms listed above. No Japanese company currently offers a modern edge compute or serverless deployment platform.

Company	Type	Notable services	Edge/serverless?
<a href="#"><u>SAKURA Internet</u></a>	IaaS, VPS, GPU Cloud	SAKURA Cloud, <a href="#"><u>Koukaryoku (GPU)</u></a> , <a href="#"><u>ISMAP-certified Government Cloud</u></a>	No
<a href="#"><u>GMO Internet Group</u></a>	Hosting conglomerate	<a href="#"><u>ConoHa</u></a> (VPS), <a href="#"><u>Lolipop!</u></a> (shared hosting), Heteml, GMO GPU Cloud	No
<a href="#"><u>IIJ</u></a>	ISP, enterprise networking	IIJ GIO (cloud), managed services	No
<a href="#"><u>KAGOYA</u></a>	Traditional hosting	Shared hosting, VPS, dedicated servers	No
<a href="#"><u>NTT Communications</u></a>	Enterprise cloud/network	Enterprise Cloud, managed hosting	No
<a href="#"><u>Fujitsu</u></a>	Enterprise IT	<a href="#"><u>Fujitsu Cloud (sovereign, Oracle Alloy-based)</u></a> , ISMAP-certified	No

**Where domestic providers are strong:** Government cloud ([SAKURA Internet is the first domestic ISMAP-certified Government Cloud provider](#)), GPU compute for AI ([SAKURA, GMO, KDDI are investing heavily in NVIDIA infrastructure](#)), and traditional enterprise hosting with Japanese-language support.

**Where they have no presence:** Edge compute, serverless functions, CDN with global reach, developer-facing deployment platforms, git-integrated CI/CD workflows. The gap between Japan’s domestic hosting ecosystem and the global edge platforms is not one of degree but of category. They are solving different problems for different eras of web architecture.

## Implications for Sovereignty Decisions

If your organization requires modern web infrastructure (edge compute, serverless, global CDN, Zero Trust networking), your options are exclusively non-Japanese platforms. The sovereignty question then becomes not “should we use a Japanese provider?” but “which foreign provider gives us the best combination of Japan-region data residency, ISMAP compliance, and operational control?”

On those criteria, the ISMAP-certified hyperscalers ([AWS](#), [Azure](#), [Google Cloud](#)) and [Cloudflare](#) provide strong options. Each offers Japan-region deployment, contractual data processing frameworks aligned with [APPI](#), and granular controls over where data is processed and stored.

For organizations whose infrastructure needs are simpler (a corporate website, basic hosting), domestic providers like [SAKURA Internet](#) or [ConoHa](#) are viable options that keep the entire stack within Japanese corporate jurisdiction. But these are hosting decisions, not sovereignty decisions.

---

## Introduction

eSolia is a Tokyo-based B2B IT professional services firm. Since 1999, we have provided bilingual IT support to international companies operating in Japan, functioning as their local IT department with the same skills and expertise as a dedicated in-house team.

### What sets us apart:

- **Team-based approach** — Our team provides comprehensive coverage across helpdesk, infrastructure, security, and project management.
- **Bilingual professionals** — Native-level English and Japanese communication, bridging headquarters and Japan operations seamlessly.
- **26+ years of experience** — Established operational processes, thorough documentation, and proven track record with multinational clients.
- **Vendor neutral** — We recommend solutions based purely on your needs, not vendor relationships.

We focus on solving your problems, as we provide IT services. Our mission is to deliver practical, durable solutions while maintaining the highest standards of professionalism and confidentiality.

— eSolia Inc.

---

## Contact Us

**eSolia Inc.** Shiodome City Center 5F (Workstyling) 1-5-2 Higashi-Shimbashi, Minato-ku Tokyo 105-7105, Japan

<b>Phone</b>	03-4577-3380
<b>Email</b>	hello@esolia.co.jp
<b>Web</b>	<a href="https://esolia.co.jp/en">https://esolia.co.jp/en</a>
<b>Hours</b>	Monday-Friday, 9:00-18:00 JST